

やまがた木育プログラム体験会

スギのストラップづくり

in 鶴岡市立加茂水族館

作成日
2024年12月2日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

今回は県内の方だけでなく県外からや、水族館目当てに訪れた森林になじみのない方など、体験頂きました。スギに関する話題について初めて触れる大人の方もおり、参加後に満足したとの感想を頂きうれしく思います。また、今回は体験終了の際に振り返りを行いました。大変好評だったことから、今後も様々な会場で実施していきたいと思っております。(担当S)

11月23日(土)、鶴

岡市立加茂水族館で、やまがた木育プログラム体験会「スギのストラップづくり」を行いました。今回は講師として、須田祐司さん、松田泰之さんにご対応頂きました。体験会ではまず松田さんの司会のもと、須田さんがスギの葉・丸太など実物を使ってスギについて「やまがた木育」の講話を行いました。

講話では、山形県内のスギ林の面積が県土の17%を占めることや、雌花と雄花の見分け方、木材としてのスギは柔らかかく軽いため加工しやすく、木目がきれいなこと、山五十川の玉杉は樹齢1000年を超える樹木があることなど、子どもや森林になじみのない方に

もわかりやすく、丁寧に
お話ししました。

ストラップ製作では、やすりの番号の違いについて学びながら、スギの木片を紙やすりで磨きまじした。やすりの番号が高くなるほど、滑らかな仕上がりになることを実際に体験しながら多くの方々が実感された様子でした。また、アマニ油の塗布で木目が美しく浮き出るとに驚く参加者もいました。その後、ひも通しを行いました。最後に今日の座学の振り返りを行い、体験会を終えました。

今回の体験でスギや木工クラフトへの関心や興味を持ってきっかけとして頂ければ幸いです。



【参加した方の感想】

- ・クイズがあったので面白かったです。
- ・スギの木の雌花や雄花を初めて見た。
- ・またストラップ作りのワークショップがあれば参加したいです。
- ・スギの枝や切り株をきちんと見たことがなかったので、勉強になりました。
- ・やすりで削るだけなら小さい子どもでもできたので、もっといろいろな場所で開催してもらえたらいいと思いました。

【スタッフの振り返り】

- ・あて木を使用したところ、ストラップ作りがやりやすくなった。
- ・座学と木工クラフトは同時に実施するよりも、分けて行った方が参加者の深い学びに繋がるようであった。
- ・木工クラフトの活動終了前に、体験会の目的と座学の再確認を行うことで、知識の定着が図れるため今後の体験会でも継続していきたい。

33名に参加頂きました！



森林の解説



スギの解説



ストラップ製作



ストラップ完成

